ナカログ

Spring 2012 Vol.34









平成23年度をふり返って

あんなこと~こんなこと~ いろいろありました。

講座・イベントリポート

NPO・市民活動交流会 もなカフェ2011 中区多文化体験講座

が ら が ら 学・楽・学・楽ぽんつ!活動の達人にインタビュー

宮路 加奈子 '' ボランティア活動で地域の"縁"を大切に''

なか区民活動センター登録団体のご紹介

おたすけ会 ″ 苦しい状況にある人たちに ご支援、ご協力を!

腹がへっちゃ…"会議・打合せは出来ぬ"…?



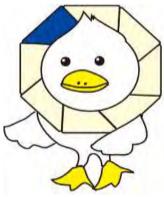
なか区民活動センターでは ミーティングエリアや研修室への 飲食物のお持込みは OK です♪

NPO・活動団体さんのミーティングや

交流会などにおススメです♪

~ゴミは必ず、お持帰り頂いております~





もなか なか区民活動センターのマスコット



中区活動団体補助金

中区では、中区内で自立的に地域の課題解決に取組む活動の振興を目的とした「中区活動団体補助金」を交付しています。グループの状態に合わせて、スタートアップコースとパワーアップコースの2種類があります。平成23年度は、スタートアップコース7団体に交付しました。また、パワーアップコースは申請がありませんでした。

PCはまかぜ、Y150たまくす会、ジャックサポーターズ、CHANNEL CREAM、 リンクスタイル中区絵本プロジェクト、横浜再発見の会 ハートフィールド

保育ボランティア養成講座

「保育ボランティア養成講座」(全2回)を一時託児協力者としてボランティア活動を始める 方を対象に開催しました。

第1回目、保育の現状や中区の一時託児事業等に関する講義

第2回目、日本赤十字社の指導員による、幼児の心肺蘇生とAEDの取り扱いについての実技 受講後は、「かざぐるま」に所属し、一時託児協力者として活動しています。

5月

親子サークル・グループリーダー研修(第1回)

親子サークルは、中区で活動する未就園児をもつ保護者のグループです。グループの新リーダーを対象に、実際の活動の意義や心構えをNL Chio の方からレクチャーし、活動への意欲を喚起しました。後半は、グループに分かれてそれぞれの団体の悩みなど情報交換しました。

6月

ゴーヤのカーテン

中土木事務所と協力し、地球温暖化防止、節電の取り組みとしてゴーヤを活動センターの壁面で、栽培しました。今回は緑と白のゴーヤを栽培しました。

NPO・市民活動交流会 "もなかカフェ 2011"

NPO・市民活動団体が「人を集める」「資金を募る」「コーディネートする」など活動を充実させるために欠かせない広報・PRすなわち"売り込み"をテーマに開催しました。

前半のシンポジウムでは、短い時間で効果的にPRする方法や、団体内部のコミュニケーションを円滑にし、活動を元気にする方法についてリズム良く親しみやすい語り口調でお話頂きました。 後半は、グループワーク・ワールドカフェの展開で、「売り込み」について意見を出し合いました。



夏休み子ども企画

中国人書家である熊峰先生を講師に招き、「書」のもつ楽しさを通じて国籍の異なる子どもど うしが交流するワークショップを行いました。

- ①漢字の成り立ちの講義を受けました。
- ②6つの書体の説明後、名前の一文字を6つの書体で書きました。
- ③最後に色紙に好きな一文字を好きな書体で書いて持ち帰りました。



なか区民活動センター祭り ~みんなでつながる市民活動~

なか区民活動センター祭りは、つながりをテーマに、中区民祭り「ハローよこはま2011」と同日開催しました。当日は晴天に恵まれ、昨年を上回る多くの来場者で盛り上がりました。初めて企画委員会を立ち上げ、テーマや装飾・PRの方法、各団体の出展スペースの調整等意見交換をし、準備・運営を行いました。みんなで作り上げるお祭りとなりました。



企画委員からの提案で、壁面に、マスコットの「もなか」の絵や風船で飾り、シャボン玉を飛ばして、PRをし、また今回出展していない登録団体とのつながりを目的に、ハガキに団体のPRを描いて頂き、掲示しました。



親子サークル・グループリーダー研修(第2回)

第2回目の親子サークル・グループリーダー研修では、前半は、親子での遊びの紹介(名前遊び、手遊び)、後半は、グループワークに分かれて、大変なこと・困っていること、良かったこと、こうして欲しいことなどの意見を出し、話し合いをしました。

オレンジリボンキャンペーン

オレンジリボンは児童虐待防止のシンボルです。児童虐待防止推進月間に合わせて、子どもに対する虐待のない社会の実現を目指し、育児サークルを支援している団体(NL Chio)が親子の手形・足形を集め、繋ぎ、オレンジリボンで飾り、当センターの壁面に展示しました。

中区区民利用施設ネットワーク会議

中区区民利用施設の自主事業の充実を目的に、各施設間の情報を共有する機会として、開催しました。7施設から、今まで行われてきたこと、これからのことなど活発な意見が交わされて、 今後の活力ある地域社会の実現のための有意義な会議になりました。



NPO・市民活動交流会 "もなかカフェ 2012"

活動団体の同士のつながりを深め互いに学びあい市民活動の輪を広げるため、「チームカアップ」をテーマに開催しました。前半は、時任和子氏の講演でチームカアップのコミュニケーションの秘訣について、後半は、小野"Perry"行雄氏によるグループワーク ワールドカフェ方式でで行いました。そして、それぞれの現場に合ったチームカアップのヒントを持ち帰りました。



中区多文化体験講座

外国人「なかく街の先生」の指導のもと、歌と料理を通じて多文化に触れる講座を実施しましました。第1回は、竹之丸地区センターで「中国の民族歌曲」。第2回は、野毛地区センターで 本格的な「タイ料理」でした。



利用者懇談会

なか区民活動センターの設置目的を踏まえた、施設の利便性向上及び事業の充実を目的にセンター登録利用団体との意見交換を実施しました。参加団体には意見交換を通じてそれぞれの団体にあったセンターの有効な利用方法も考えていただきました。

中区多文化フェスタ ~あなたと世界がつながる日~

中区および周辺地域在住の外国人と日本人が交流し、多くの文化に触れ、それぞれの思いを表現できる場をコンセプトに様々なイベントを横浜市技能文化会館で行いました。世界とつながる1日、多文化をいろいろ体験できました。

NPO・市民活動交流会 もなカフェ 2012

1月28日(土) 13:30~16:30 なか区民活動センター

職場や学校でもないNPO・市民活動で

☆**キラリ**と光る一片(ワンピース)の**チーム力**を呼び起こせ!!

2012年1月28日(土)、なか区民活動センターで開催された交流会もな力フェは第5回を迎えました。

これまでNPO・市民活動における対外的な広報・PRに関することをテーマとしていましたが、今回は、NPO・市民活動団体内部のコミュニケーション「チームカ」をテーマとしました。

講演(前半)とグループワーク・ワールドカフェ(後半)の二部構成で開催しました。

- ・講演ゲストスピーカー:時任 和子氏
- ・グループワーク・ワールドカフェの ファシリテーター:小野"Perry"行雄氏
- ■寒さを吹き飛ばす時任節がチーム力を語る! 活動に対する思いや運営上の悩みを活動を共に する仲間と共有するためのコミュニケーションの 秘訣についてのお話です。

仲間同士のキャッチボールを円滑にするために、 **うなづくこと、あいづちをうつこと**、(相手の言う ことを) **繰り返すこと**の3ポイントを挙げていま した。

また、団体が置かれている環境はどうなのか? 「チーム」としてやるべき課題をもう一度見直し、 本来自分たちの団体が目指す夢や目的を考えて欲 しいと語り、メンバーを鼓舞し、自らのモチベー ションを高めるためにワクワクする夢や具体的な 目標、ゴールを共有し名刺やパンフレットに一行 で書いてみることを参加者に呼び掛けていました。



■「理想のチーム」って何だ?

後半のグループワーク・ワールドカフェでは目的や志を共にすることが大切であるという仲間同士の一体感にチームの理想を求める意見が出る一方、目的から外れても仲間の輪に入れるなど、一緒に活動する上での柔軟性などが論点になっていました。

ボランティアに対するモチベーションを考える ことや自分たちの活動への関わりを考えるきっか けにもなったようです。

■交流会もなカフェを振り返って

「出会った者が活動を通し、チームとなり仲間になって行く。なんと素晴らしい!交流会では、参加の方々が刺激しあい、顔の見える生きた「名刺交換」で明日につなげていたのが印象的でした。 躍動を感じました!」(時任氏)

「集まってくださる方たちの、さまざまなところでの活動をうかがう度に気持ちがウキウキしてきます。そうした活動が地域と人々を元気にしていることを実感し、それが結び合っていく現場に居合わせることの幸せもまた感じています」(小野"Perry"氏)

(担当:内多)

★NPO・市民活動を元気にする講演・ファシリテーターについてのご相談承ります。

時任 和子氏(特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク)宛メール info@yumecomi.net 小野"Perry"行雄氏(特定非営利活動法人 草の根援助運動)宛メール office@p2aid.com

中区多文化体験講座



外国人「なかく街の先生」と一緒に外国の歌と食を体験しよう!



■「中国の民族歌曲」~歌を通して中国語に親しみます。

「開催日時」 平成24年2月11日(土)午後1時~午後2時30分

竹之丸地区センター 工芸室 「開催場所」

「参加者数」 12人

張 珂(ちょう か)氏 「講 師上

中国民族歌曲で用いられる独特な歌唱法により講師が独唱した 後、歌詞の音読、意味の解説を行い、歌に関する文化的背景を紹 介しました。その後、受講生が先生と一緒に歌に挑戦しました! 曲目は①牧歌(モンゴル民族歌曲)

- ②夕陽紅~夕日は最も美しい
- ③幸福拍手歌~幸せなら手を叩こう
- ④繍荷苞~君へのポシェット(講師による独唱)

大変盛り上がり、好評のうちに講座は終了しました。受講者は 中国民族音楽の独特のリズム、音色に触れ、その世界観を感じと って頂いたようです。



■「タイ料理」~本格的タイ料理を楽しもう!

平成24年2月19日(日)午前11時~午後1時 「開催日時」

「開催場所」 野毛地区センター 調理室

「参加者数」 14人

「講 キッチャク ナロン氏 師し

講師はタイ料理のシェフでもあり、タイの代表的な料理(① グリーンカレー ②トムヤムクン ③タカピオ)の調理の実演 を行いました。食材、調味料、香辛料を使い、シェフならでは の本格的な手順での調理を受講者に披露、受講者はできあがっ た料理の試食を通じてタイ料理の特徴である甘味、酸味、辛み のバランスを味わい、繊細かつ奥深いタイの食文化を体験する ことができたのではないでしょうか。











活動の達人にインタビュー



自分自信を 成長させてくれる ボランティア活動で 地域の ^{*}縁 ^{*} を 大事にしています



主に関内駅近く、大通り公園周辺の清掃ボランティア活動に携わっています。「気楽に・楽しく・短時間でもできるボランティアを始めたきっ

かけでした。デイサービスで介護の仕事を していた私にはぴったり。ボランティアで の気づきや発見・様々な分野で活躍する人 との出会いや交流が、楽しさや喜びになり ました。

····

Q: 宮路さんのボランティア活動に20代~30代 の若者が多く参加されていますが、若者がボランティア活動に参加してもらいやすいようにするために心がけていることは何ですか?

A:自分が何をしたらいいかよくわからないで悩んでいる20代~30代の若者達に実際にボランティア活動に参加している同年代の若者達の"ことば"を伝えるようにしています。

「街の中を綺麗にしているようだけれど自分の 心を綺麗にしているように思えた」「ゴミ拾い をしていて地域の人に声をかけられたことで力 をもらえた」「午前中だけの参加が出来ること で活動しやすい」といった参加者の声などを伝 え、ボランティア活動に対して共感してもらう ように心がけています。

Q:地域社会との関わりで気に留めていることは 何ですか?

A:地域の人たちとの出会い、"縁"を大事にしています。例えば、ゴミ拾いから始めた活動も、南吉田町の人達との出会い、その"縁"がきっかけで町内会が開催している餅つき大会に対する若者からの意見やアイディアを求められました。さらにそこから「まちづくり」についても関わる機会が出てきました。

Q:宮路さんにとって"ボランティア活動"とは何ですか?

A:自分自身を成長させてくれる場所です。普段、 介護の仕事に携わっていますが、仕事以外の経 験として活動を企画し運営することがあります。 その過程において様々な人たちとの出会いがあり、多様な意見や考え方があることを学び、人に対して寛容になり、視野を広く持つことが出来るようになりました。

Q:いま、活動していて悩んでいることはありますか?

A:「ボランティア」という言葉が当り前のように使われている割には、ボランティアはやりたい人だけがやればいいという意見が多いことで、結局、限られた人だけのボランティア活動になってしまっているように思います。

どうしたら、もっと多くの人達がボランティアに参加してくれるか?生活の中から自分に出来ることを探して小さなことでも(自ら)行動することで世の中が良くなることを知ってもらえるか?思案しています。

Q: 宮路さん自身ボランティア活動をするうえで 参考になったおすすめの一冊を教えてください

A:最近話題の"もしドラ"いわゆる『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』(岩崎 夏海著 ダイヤモンド社)です。自分達がボランティア活動する上での組織をマネジメントすることや、新しく一緒に活動してほしい若者達を"顧客"と捉え、経営学の視点から顧客満足=CSをどううやって達成するか、など参考になる一冊だと思います。

(担当:内多)

♠カッドウのDNA





おたすけ会

登録 No. なか-114C 代表/大藪 勝彦

Tel: 0.90 - 8.109 - 0.147 mail: ooyabusan@ezmeb. ne. jp

苦しい状況にある人たちに ご支援、ご協力を!



長引く不況のため職を失い家庭崩壊したり、住居を失 ったりして生活保護を受けたり、路上生活をする人がい ます。

私たちは、その人たちを救う団体「おたすけ会」を平 成22年に立ち上げました。4人のメンバーですが、寿 町の炊き出し、夜まわりを寿地区の組合と連携して定期 的に実施しています。また、昨年は東日本大震災があり

ましたが、こちらの復興支援にも力を入れております。具体的な活動としては、ご家庭で使わ なくなったものを集めて、チャリティーバザーを行っております。バザーの売上の80%は、

路上生活者の食事代等の支援に使い、一部を震災復興 のため日本赤十字社の寄付をしました。

また、路上パフォーマンスを月に1回、石川町駅周 辺で実施しております。歌、楽器演奏、何か芸のある 人たち、一芸を演じてもらう催しを行っております。 皆様にお願いですが、路上パフォーマンスで芸をやっ てみたい方、楽器を演奏したい方、私たちの活動に共 感し、ともに活動していただける方を募集ししており





ます。また、是非、パフォーマンスも見に来てください。楽しくやっており ます。人が集まったとき、喜んでもらえた時は、生き甲斐になります。 最近、平魚泳さんのご協力で「終わりのない季節」というCDを作りました。

臨時休館日 5月19日 ご迷惑をおかけします。よろしくお願いします。

might and the the tighten and the me might are the me might are the me might are the the tight are the me might are the me

「なかくの街の先生 2012」が完成しました。

中区ボランティア人材バンク「なかく街の先生」の冊子を発行しました。 なかく街の先生は、仕事や趣味で培った知識・技術を地域で活用して頂くた めの冊子です。中区内の地区センター等でご覧になることができます。





◆ ◆ センターからのお知らせ。 ◆ ◆

レターケース 空きがあります

貸レターケースは、現在空きがあります。ご希望の団体は、なか区民 活動センター窓口にてお申し込み下さい。受付は先着順で、すでにロッ カーをご利用の団体はお申込みできません。レターケースは書類の保管、 団体間の情報交流、郵便物の受け取りに使用できます。

貸出期間は、平成25年3月末日までです。



なか区民活動センター登録団体の皆様へ 団体登録証の携帯をお願いします



なか区民活動センター窓口で研修室等の予約をされる際、また貸口ッカ 一の鍵をご利用になる際、こちらから団体登録証の提示をお願いすること があります。団体登録証は各団体1枚ずつしかありません。予約作業をさ れる方は登録証、もしくはコピー(登録証の表・裏面をコピーしてくださ い)を、窓口にご提示くださいますようお願いいたします。

なか区民活動センター 施設利用のご案内

中区民や横浜市民の自主的な活動(市民活動・生涯学習・地域活動など)をサポートする施設です。

* 開館時間 午前9時~午後9時

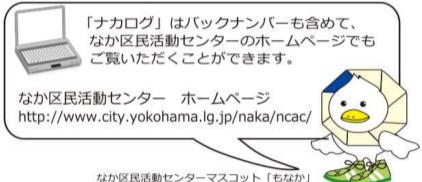
* 休館日 毎月第4月曜日 (祝・休日の場合は 翌火曜日) 年末年始

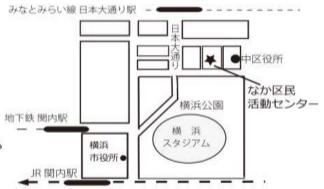
**施設の利用について

中区民・横浜市民の自主的な活動(市民 活動・生涯学習・ボランティア活動・地域 活動などの公益的な活動)にご利用いただ けます。研修室や一部の設備の利用には団体 登録が必要です。

★ 利用登録

研修室・ミーティングエリア・印刷室の 予約、貸口ッカー・レターケース、 貸出機材を利用する場合は利用登録が 必要です。登録申請にはセンタースタッ フとのヒアリングや審査があり、少々 お時間をいただきます。





「なか区民活動センター情報誌・ナカログ」編集・発行/なか区民活動センター編集室 問 合 せ/なか区民活動センター(中区地域振興課) TEL 045-224-8138 FAX 045-224-8343 〒231-0021 横浜市中区日本大通 34 E-mail: na-katsudou@city.yokohama.jp

横浜市広報印刷物登録 第200228号 種別分類 C-QA010